

プログラム様式

プログラム名	雨を集めて楽しもう！	
対象年齢	年長（5～6歳児）	
メッセージ	自然の不思議さや雨の大切さに気づこう	
ねらい 発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> 雨を五感で感じる 雨（水）の役割に気づく 雨水を使って遊ぶ 	
参加者のめやす	幼児 10人～ / 支援者 2人	
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
準備		<ul style="list-style-type: none"> カッパや長靴を着用することで、濡れても活動できるようにする。また正しく着用できているか確認をする。 周囲の確認をし、すべりやすい箇所や危険な箇所がないかチェックをしておき、子どもたちにも声をかける。
8分	①導入 ・雨水を感じる。 ・音を聞く ・目で見ると ・顔や手で触れる ・木の枝のしずくを探し、触れる。 ・どうやって雨水を集めるかグループで相談をする。	<ul style="list-style-type: none"> 五感を使って感じられるような言葉かけをする。 見る時には横からや見やすくなる工夫をする。 いろいろな色の違いに気づけるように容器を用意しておく。 約束をして安全に探せるようにする。 保育者の見えるところで探す。 枝が目に入らないように気をつける。 子どもが自分で考えたり選んだりすることができるよう道具の数や種類を十分に用意しておく。 水たまりの水は集めず、雨水をためることを伝える。 (あとで遊ぶため透明の雨水を集める)

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
7分	②雨水を集める	<ul style="list-style-type: none"> 保育者も一緒に雨を集めながら、子どもの発見やつぶやきに共感していく。
10分	③集めた雨水を見せ合いながらみんなで話し合う	<ul style="list-style-type: none"> どこで集めたか、どうやって集めたかなどをみんなで分かち合う。 集めた水の量や色の違いに気づけるような声かけをする。
5分	④集めた雨をとばして遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 勢いよく水がとんでくることを楽しめるようにする。 雨水の役割（生き物のいのちを支える、水の働き）について知らせる。
【園や家庭へ帰ってから】		
<ul style="list-style-type: none"> 雨音を聞く時に色々な容器でやってみる。 カッパを着て散歩をする経験をする。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ポリ袋（2枚） カップなど（廃材） スポンジ、ぞうきん（雨水をすわせて集める） 洗面器 ペットボトル じょうご 傘 	

田畑・園庭

はる
なつ
あき

